

IBM 環境シンポジウム 2002

【セッションC】

自治体 / 市民の取組み

「市民の環境活動」

盛岡消費者友の会 会長 渡辺 彰子

(司会)

只今よりセッション C、「市民の環境活動」と題しまして、盛岡消費者友の会 会長、渡辺彰子様によりまず講演を始めさせていただきます。それでは、渡辺様、お願い致します。

皆様こんにちは。盛岡消費者友の会の渡辺と申します。

皆様の資料の中には盛岡消費者友の会の活動についてと書いてありますが、訂正させていただきます。「環境パートナーシップいわての運営委員として」お話しさせていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

本日の主な内容は、
、今なぜ環境パートナーシップなのか。
、ネットワークについてです。

それでは、
、について

今なぜ、環境パートナーシップなのかを、市民の環境活動「環境パートナーシップいわて」の活動を通して皆様にお話ししたいと思います。

「地球は今病んでいると人はいふ・・・人の病は、早い段階で処置し、無理せず栄養、休養を取れば快復するが、それとはちょっと訳が違う・・・」

経済、産業など私たちの日常生活の豊かさの追求が、環境問題を大きくして、複雑に絡み合い、根を張り、病に拍車をかけています。

幸いにも岩手県には豊かな森、川、海など先人たちが大切に守ってきたすばらしい自然がまだまだたくさん残されております。私たちはこの自然を次世代に引き継ぐ指命を持っております。

持続可能な地域社会を築いていくためには、今こそ企業、行政、市民などあらゆる立場の人たちが対等なパートナーシップで行動しなければならない・・・とその思いが行動として平成14年、発起人22名の呼びかけで、環境パートナーシップいわて結成にこぎつけたのでした。

これは発足当初のパンフレットです。

これは、去年の9月の総会設立風景です。

これは今年最新の会員分布図です。

14年度は、223名の個人、団体の会員でした。今年15年は248名で、わずかですが増えています。会員の分布は盛岡が125名でダントツです。それから紫波、滝沢、北上、雫石、一関、釜石という順になっております。まだまだばらつきがありますが、これを全県下に整備してい

こうと計画を立てております。

主な機能・役割ですがその は環境に関する交流・活動の場。

その は環境に関する研鑽・学びの場。

その は環境に関する様々なアイデアを提案し、企画を行う場。

その はイベントの開催。

その は目的達成のために必要な活動となっております。

さて一つ目ですが環境に関する交流・活動の場というのは、出会いを通じた連携の環（わ）の拡大、そして共通するテーマについての連携活動を行う事です。各地域に出会いを継続的に作っていきましょうということです。

二つ目の環境に関する研鑽・学びの場は、学識経験者等の講演会や私たちの活動成果の発表です。日常活動に拠点活動を広げ、幅広い分野を共有しながらあらゆる立場の人たちと話し合えることの必要性が強調されています。

三つ目の環境に関して様々なアイデアを提案し企画を行う場は、環境の維持、改善に向けた事業などの企画、環境に関するさまざまなアイデアの提言を行います。

四つ目はイベントの開催です。県内各地における環境イベントの開催と支援などがあげられます。

最後の五つ目はその他目的の達成のために必要な活動となっておりますが、これは後でもご案内申し上げますが、ご存じの方もいらっしゃると思います、盛岡駅前に複合施設が平成 18 年度に開館予定となっております。その一角に、環境コミュニティープラザが設置される予定です。そのことを含めた環境にかかわる委員会なども検討中です。

環境パートナーシップいわての組織図です。環境パートナーシップいわてはどのようなものかということと同時に、事業を円滑に推進する為に 1 つの運営委員会と 8 つの各種委員会を設置しております。

各種委員会は運営委員と会員で構成されております。平成 15 年度総会で承認され運営委員と会員を巻き込んだ委員会となっております。

総務委員会、情報活動委員会、市民提案プロジェクト委員会、環境フォーラム委員会、環境パートナーシップいわての集い委員会、環境アイデアコンクール委員会、NPO 法人格取得検討委員会、地球温暖化防止活動推進センター設置検討委員会 8 つの委員会です。

特にこの中で、先程申しあげましたように、18 年に完成予定となっております複合施設の環境コミュニティープラザですが、私たちの立ち上げた地球温暖化防止活動推進センター設置検討委員会が地球温暖化防止活動推進にどのような形で係わっていくかということです。みんなで何とかして環境を守ろうという思いがこの中に込められているのではないかと思います。

それから NPO 法人格取得検討委員会です。今年の総会の時に提案していますが、様々な意見が出されています。法人化ということは自分たちの責任において行動しなければならないこ

とで、方向性が打ち出されております。

市民提案プロジェクト委員会については、後ほど申し上げます。

情報活動委員会は、今皆さんのお手元にニューズレターが(すでに4回発行しておりますが)、4部ほど皆さんの所に配られていると思います。環境パートナーシップいわてをもっと知ってもらいたい、その為に会員のメンバーが何をやっているのか、顔の見える状況を作りましょう。

そして既存の公民館等にどんどん入ってキャラバン隊としてPRしましょうという所までできております。

総務委員会は、運営委員会の意見を吸い上げたり活動を活発にそしてスムーズにする為の補佐機能を持っております。

それでは、今までやってきた主な活動を皆さんにご紹介申し上げたいと思います。

いわて環境フォーラム 2002 in 東和です。これは第1回目で、環境パートナーシップいわて設立記念とNGOによる環境取得コンテストで第1位を受賞の実績がある東和町で開催しました。

メインテーマは「みんなで作るみんなの町」です。

4団体の事例発表がありました。

そして、3つの分科会が開催され、企業による出展は17団体でした。

この中でどのような特徴があったかと申しますと、下足袋、マイカップ持参は、足下からの実践のきっかけづくりになりました。そして地元食材を使った試食コーナーも大変好評でした。

地元の人たちが共に汗をかきその結集力が、来年もどこかで開催して会いましょうと、想いを次に繋げることができたと思っております。

突然、岩手県環境基本計画というのができましたが、これは、市民提案プロジェクト。先程の組織の中で未だご説明は申し上げておりませんでした市民提案プロジェクトです。

岩手県環境基本計画。岩手県の方は知っている方もいると思いますが、基本計画がありまして、基本目標は、恵み豊かな環境と共生し、未来に繋ぐイーハトーブの大地、みんなで目指そう環境首都いわてとなっております。

基本的方針は、すべての県民の参加、連携と協力による環境共生の確保、環境への負荷の少ない循環型地域社会の形成、地域環境の保全に貢献する地域からの行動となっております。

この岩手県環境基本計画のなかで環境施策の基本方向というものが打ち出されました。

この7つの項目の岩手県環境基本計画は、国の基本計画に則って策定され、2005年が中間目標年、2010年が12年目の目標年となっております。

そこで、岩手の基本計画をまず学習しましょうと運営委員会で提案されました。

提案したのは私でございますけれども、環境問題は自らの問題としてやっていかなければ解

決が出来ない。自らの行動と行政行動を検証しながら、県に提案し、将来、市町村での実施に向けて役立つよう進めて行きたいと考え市民プロジェクトを立ち上げようということになりました。

いわゆる環境に対する意見、要望、基本計画に反映をしていこうという自主的に取り組んでいる活動です。ちなみに7つの方向性の一つ地球温暖化対策の推進をテーマ別にエコアクション、省エネ社会を目指して、ゴミからエコを考えようなどワークショップを繰り広げられながら、皆さんの意見を集約している状況です。

あとの6つの方向性も学習する事になっております。

基本計画中間見直しの平成17年度に向けて成果をまとめて提言をしていくことになっております。

どうぞ皆さん、ワークショップの参加をお待ちしております。

その他にニュースレターの発行です。年に3回発行しております。

そして、ホームページのメイリングリストの開設。

これから行事が目白押しです。

皆様のところにはチラシを3種類配布しております、それに沿ってご説明申し上げます。

昨年に引き続き、岩手環境フォーラム2003二戸が開催されました。

環境フォーラム委員会と、二戸と意見交流をしながら今着々と準備を進めております。ここに書いておりますようにメインステージは、子どもたちの体験学習発表会と環境漫才、トークアンドディスカッションです。

次にアイデアコンクールというのがありまして、「アイデアある」このようなチラシが入っております。

環境アイデアコンクールは、アイデア環境コンクール委員会というメンバーが中心にやっております。方向性としては 来年も継続的に行う、 事業内容は県民が具体的な活動として取り組めるきっかけづくりになることを打ち出しております。

応募期間は11月から1月です。優秀な作品には、2月に行われますパートナーシップいわての集いで発表することになっております。

どうぞ皆さんも振るって応募なさって頂きたいと思います。

これは限定作品・意見ではありません。環境に関する取り組みについてであればなんでも結構です。

それから三枚目のちらしですが、環境パートナーシップいわての集い委員会。プレ環境パートナーシップいわての集いです「りんごと自然と語ろう」。これが11月9日開催です。

以上、各種の委員会のお知らせを致しました。

、ネットワークについて

私たちがこれから問題にしなければならないことに、ネットワークの必要性というのがあります。

環境問題がグローバル化して、それぞれの地域だけでの対応では解決できない、対応しきれないものがあります。

効率的に運動を進めるために人的資本の活用、そして社会環境の変化の先駆的対応が求められているのではないのでしょうか。コンパクトにまとめると、組織プラス資金、それにかける行動力そしてプラス専門性+人間の質的なものが要求されるのではないかと考えております。

分散型活動がネットワークすることで、価値観の共有が出来る。そして意識向上が図れるようになると思っております。

そしてネットワークにより、先程私たちが提案しております将来環境パートナーシップを全県の基盤を持った組織になっていくでしょう。そこに結びつく事ではないかと考えております。

最後になりますが、責任ある組織にするためにNPO法人化ということも浮上しておりますし、またパートナーシップを全県下に組織するという事など課題は山積致しております。

これからが私たちの本当の活動だと思っております。

内容はおそらく模索状態でありますので、皆さんに果たしてどの程度ご理解いただけたかわかりませんが、ちょっと時間が早いのですが、これからは、皆さんからいろいろと質問を受けて、出来る範囲内でお答えしたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

(進行)

ではただいまから質疑応答とさせていただきますので、何かご質問のある方は、その場にて挙手をお願いいたします。スタッフがマイクをお持ち致しますので、その場でご質問の方は言っていただければと思います。何かご質問はございますでしょうか。

(質問者)

貴重なお話有難うございました。

大変漠然とした質問で恐縮でございますが、こういった非常に地域に根ざした活動をされていく中で、企業として何かご支援できるというか、あるいは活動の中で何か企業に求めることがございましたら、ご教授いただけますでしょうか？

(渡辺氏 / 回答)

委員会の中に企業の方々も入っております。

出来るところと出来ないところがありますので、皆さんに選んでいただき、その中に入っているところであります。

それから環境基本計画のプロジェクトチームもあります。一番手っ取り早いのはワークショップです。参加していただいて、意見を皆さんの場で反映していただくということです。

皆さんご存じの通りワークショップというのは、色々な意見を提案する場であり、交流の場でもあるわけですから、企業の立場としていろんな意見を出し合っているワークショップもございますので、そういうところで反映していただければありがたいと思います。

(質問者)

東和町でのシンポジウムと二戸のシンポジウムですが、それぞれの地域の活性化の為に努力している点があったと思いますが、地域として共通に使えると思うものと、二戸でなければいけない、東和だからこそこれがやれるんだというものがございましたら、ご説明頂きたいと思います。

(渡辺氏/回答)

これは各地域を大切にするという条件のもとでやられております。

私たちは支援する側になっています。二戸は二戸の考え方がある。東和町はコンクール受賞地域とあって、結構意識が高いでした。

それで、皆さんの汗と結集力が次につなげる原動力になったと思います。

私たちがこうして欲しいということではなく、その地域を大事に吸い上げるという機能が私たちの果たす役割ではないかと思います。

(質問者)

それが必ず地域の相乗効果で、岩手の環境として高まっていけるという、推進として今後の展望をお話しいただきたいと思います。

(渡辺氏/回答)

活動を次に繋げる、そして継続性を持つということが大事だと思います。

その輪が大きくなると、先程言いましたように組織の基盤を全県下拡大していきますので、価値観の共有ができるということが一つの目標達成のきっかけ作りにつながると思います。

(質問者)

こちらの環境パートナーシップいわての第4号を見させていただきました。

それで、私どもの企業で環境マネジメントシステムを取り入れまして、環境活動を色々な事業所で進めていこうという話が上がっているのですが、事業所内のゴミの減量とか、リサイクルの分別、古紙回収、両面利用そういったものは既にやっておりますが、ある程度、ここまですが限界かなというところまでできてしまっていて、全くの素人ですので、この市民提案プロジェクト・ワークショップの意見でこれはやってみたらどうですか？ というおもしろい意見が出ていたのであれば、ご紹介して頂きたいと思います。

(渡辺氏/回答)

実はまとまっていない状況です。ただし第1回目の中でCO2の問題、この計画の策定時に結構つまんだ話がありまして、基本計画というのは、県民の参加型であったか、どうかという

ことなど、実際こういうものはやって欲しいというよりも、事業計画に関しての要望が結構多かったかと思っております。

まだまとまっていないので、お答えにならなくて申し訳ございませんが、差し支えなければ、その結果をお送りさせていただいても結構です。

（質問者）

発起人の中に私どもの会の副会長の遠藤が入っております、岩手銀河系環境ネットワークの運営をしています和田といいます。

会と会の中で交流、例えばお招きしてご講演頂くとか、我々の会も月に1回開催していますので、そこから出席させていただくとか、個人で両方入っていらっしゃる方もいますが、会の中での交流をするときにはこの組織の中のどの委員会にご相談すればよろしいのでしょうか。

（渡辺氏/回答）

運営委員会が決定権を持っていますが、総務委員会があります。

これは運営委員会をスムーズに運ぶ為のひとつの機能を果たしているわけです。

是非遠慮なく提案していただければ、事務局もございますので、まず事務局を通してからお願いいたします。

（質問者）

総務委員会ですね。ありがとうございました。

当会の副会長の遠藤が、地元で活躍したいしますので、そちらにリターンすればいいのですが、具体的にお話しするときには総務委員会の方に相談すれば・・・。

（渡辺氏/回答）

はい。事務局を通して頂きたいと思います。

（質問者）

わかりました。我々の委員会も色々な事をして2年経過したところですが、何か共通点多いと思いますので、ぜひ実行させていただきたいと思いますので、宜しく願いいたします。

（渡辺氏/回答）

そうですね。

実は先程言いました情報活動委員会がありますが、まだ会員で企業も、行政も、学者も、たくさんおります。それぞれの人たちが何をやっているかという顔が見えない。これをどうするかという問題がでてきます。それをまずクリアしてから、次に既存の公民館などを利用してキャラバン隊を組んでいこうという話です。そのようなものも利用してもよろしいかと思えます。

（質問者）

わかりました。最後に私どものいくつかのプロジェクトはもう既に動いておりますので、それらをご紹介、すべて地元発意でございますので、各行政さんとの間でしておりますので、それらをご紹介して、相乗効果が出ればと思います。宜しくお願い致します。どうもありがとうございました。

（質問者 / ご意見）

基調講演の時にバイオマスのことが出たのですが、それはなかなかコストが高くて出来にくいということ、大きな会社とか官庁関係でなければ出来ないということが、増田知事は一歩進められて企業に支援していくということで本当にうれしいと思いました。

そして家庭でもまた使用できるものもこれから制作していくということ、やはり第1回目で話しあったことが着々と実現化に進んできていると思いました。

これはすごくコストがかかりまして、普通の所では使用できないもので、本当に使えるものかなと思っていたものが、このように急速に進んだということはどういうことかうれしいなと思います。それがやはり皆様のお力だと思えます。

（渡辺氏）

遠いところからいらしてる方、いかがですか？

もうこんな事をやっているという方たちが多いと思いますが、やはり地域的に地域らしさというものをそこに出していかなければならないという思いがあります。

私たちはこういうことをやっているというものを、逆に皆さんから提案してもらいたいです、いかがですか？

ございませんでしょうか？

これで閉じさせていただいてもよろしいですか？

皆さんご協力ありがとうございました。